

令和３年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和３年５月２７日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語と算数の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国 語	６４．７％					○
算 数	７０．２％					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	68.3%					○
話すこと・聞くこと	77.8%					○
書くこと	60.7%					○
読むこと	47.2%					○

【考 察】

- 「読むこと」では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができています。また、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることができるよう、文章と図表とを照らし合わせて指導してきたことで、改善が見られてきています。
- 「話すこと・聞くこと」では、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができています。目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるよう、タブレット等のICT機器を活用した表現の場を工夫していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.1%					○
図形	57.9%					○
測定	74.8%					○
変化と関係	75.9%					○
データの活用	76.0%					○

【考 察】

- 「数と計算」では、商が1より小さくなるわり算の問題で、場面から数量の関係をとりえて正しい式に表し、計算をすることができています。日常生活の場面に即して判断する問題ができるよう、問題場面を具体的にイメージできるような問題提示をして指導をしていきます。
- 「変化と関係」では、速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができます。速さが一定であることを基に、道のりと時間が比例していることが理解できるよう、速さ・道のり・時間の関係について指導していきます。